【議事録】

■案件名：PARK-PFI「桃山公園」の魅力向上事業

■会議名：第３回 桃山公園ミーティング

■日時：2023 年 4 月 15 日(土)　15：00～16:30

■場所：桃山台市民ホール(2 階)

■参加者(敬省略)

（学識経験者）大阪公立大学　緑地環境科学専攻　武田

（桃山台自治団体協議会）小山

（3 丁目自治会）柳田、前田

（メロディーハイム）小西

（ブランズ桃山台）森本

（サンメゾン桃山台アーバンビュー）里見

（桃山公園を守る会）田中、村田

（愛好会）古川、飯田、玉置

（桃山台小学校 PTA）中村

（桃山公園クラブ）稲山

（吹田市公園みどり室）亀川、川本、金田

（指定管理者）グリーンホスピタルサプライ桃山公園

白石、吹田、中村、野田、八木、田中

■記録者：中村

■資料：第３回 桃山公園ミーティング 次第、桃山公園協議会規約、資材申請書

1.　委員の自己紹介

2.　協議会の目的及び改定規約について〈GHS〉

前回の協議会で本会と分科会を合同にすることとなったため、規約の変更を行う。

［変更点］

・第１章 総則（組織）第３条（本会と分科会を分ける）の削除

・第２章 委員 協議会・分科会の委員を統一

・第４章 会議（会議の種別）第８条（１）「協議会の本会及び分科会は」削除

・第４章 会議（協議項目）第９条 本会・分科会と分けていたが統一

・第４章 会議（会議の公開）第 11 条（協議会への傍聴）　追加

（１）について会議を傍聴しようとする者は、あらかじめ指定管理者に申し出なければならない。と記載はあるが、当日受付をする。

（２）について、ご発言は協議会メンバーのみとする。

3.　他公園事例のご紹介〈武田准教授〉

※武田先生が関わっている公園をメインに、市民の力で公園を盛り立て、公園がより魅力的になった事例をご紹介頂く

〇高槻市/安満遺跡公園（武田先生が関わっている公園）

・最初に公園の理念・目標像を定めた

●高槻版市民が育てる公園づくり（理念）

→準備段階（公園開園前）から市民と一緒に活動を準備していた。

→市民活動組織「安満人倶楽部」の誕生

市民の「やってみたい」という挑戦の気持ちを受け入れて、市民の方が市民の方にサービスする公園ができている。

・公園の未来予想図を作成

→事業者や行政がイベントを行うのではなく、市民やりたいことをサポートしている。

そのためには、①スパイラルアップで考える。②活動を行ってみて、修正点をみつけ改善していくことでだんだん良くしていく。③話し合いの場を持って進める。

・10,000 人の 1 回より 100 人の 100 回を

→小さいイベントを年数回行ったほうが、より魅力的だと言えるのではないか。

日々何かが起こっていて、人々が公園で活動しているのを目にすることが多く、自分が公園に参加できるかもしれないと思う公園づくり。

〇堺市　大蓮公園

・おそろい T シャツ・テントを作成

〇団地内の公共空間

・屋外空間で交流

→ちょっとした特技ややりたいことを持ち寄って、みんなと交流する。

・グッド・ムービーよりナイス・パーティーを

選択肢の中から最善策を選ぶ姿勢より、素敵な時間と空間を自らつくり出す姿を。

→想像力を発揮しながら、自分のやりたいことを考えることができるのが公園である。

・リーダーシップよりフォロワーシップを

先頭に立ってチームを引っ張るより、チーム全体のパフォーマンスを向上する

・ソリューションよりオリエンテーションを

目の前にある課題の答えより、遠くの目標に向かうための考え方を

→50 年後、数百年後を見据えて、今何をするか。

・現在市民の合意より将来市民の希望を

いまの価値で判断できるものより、まだ見ぬ未来の価値につながる可能性を

→今いる私たちのこの世代だけで合意形成して最善のものがいいものだという
わけではなく、将来、子供たちや、まだ生まれていない孫の世代や、もっと先
の世代にとっても、どんなものが私たちの世代で考えるか。

○街づくりに大事なもの
・さんま(3 つの間)をひらくまちづくり
①人間：いまいる人だけでなく将来の利用者のために
→幅が広がる、未来志向になる
②空間：空間(エリア)に閉じずにまちに開く
→公園が街にとってどうよくなるか、エリアにとって公園は何を果たす
べきか
③時間：ゆっくりとしか育たない価値をつくる
→芽を作って、育てていく価値に着目する

【質疑応答】
A 委員：何かイベントをしないといけないのか。
都市公園の中に、何もしない時間や空間も大切じゃないか。
B 委員：P-PFI 事業は公民連携で公園を使いましょう、経済効果から利用促進しようという話が出てきているが、その空間が存在していることに価値がある。
社会は利用効果過多である。それよりは公園の周りに影響をもたらす「波及効果」が大切である。賑わいづくりより、1 人でも豊かに過ごせる時間を作る空間ほうが難しいのではないか。一人でも上質で豊かに過ごせる場所は大事だと思うので、ご指摘の通り、桃山公園はむしろそういう空間として相性が良いのかもしれませんし、すでに上質な時間があるとすれば、邪魔しないということも大切な意味なのではないかと思います。

C 委員：子育て世代の意見として、パークセンターにカフェ（コーヒーが飲めるスペースを指す）ができてよかったという話をママ友と話した。子供を連れて遊びに行くとなると桃山公園は何もないので、緑地公園など遠出する。人手が少なく、治安が悪いのもあり、パークセンターができて良かったとママ友と話をした。上の世代のご意見とすり合わせるときに、私がこの会議に出席しないと子育て世代の意見が拾われるのかという心配があって、参加させて頂いた。
B 委員：いろいろな世代にとって、どうしたら大事な空間になるかを、まさに協議会で話し合うのは大事かなと思います。仲間を増やしていただいて、一緒に喋っていただける人達が増えるといいのかなという気もします。子供たちにとっての桃山公園を考えたときに、遊具があって遊びに来るような公園でもないような気がしますし、先ほどご紹介した「プレイパーク」のような自然遊びはあっている気がする。公園の性格と今までの使われ方とマッチした子供たちの使い方も増えていくといいかなという気がします。

D 委員:公園に住んでいる生物の環境として、桃山公園の在り方はどういうふうにお考えか。
B 委員：存在効果に生物の多様性を入れているが、利用効果を高めれば高めるほど、生物が住みづらい環境になる。最近の公園は利用効果重視なので、アンバランスさがどこ

の公園でも出ている。
なぜ利用効果に着目しているかというと、利用効果が今までおざなりにされていたからである。有効に活用されていない公園が多く、管理もできず、人間にとっては良くない面もあった。その折り合いをつけるために、官民連携で利用効果をあげ、少し収益性をあげながら改善していったという背景がある。
昔のように何もしない公園が良いとも思わないですし、一方であまり利用効果過多になりすぎるのも良くない。難しいところですが、皆さんで話し合って、どれぐらいのバランスが、桃山公園にとって適切かどうかを話し合いして決めていくプロセスが大事だと思います。公園の特性や周辺に住まわれている方にもよりますので、どの公園でも同じではない。

E 委員:高槻市の事例でいろいろなクラブがいろいろなイベントを持ち寄ってくると思うが、やりすぎということがあれば、誰が判断しているのか。
B 委員：プラットフォーム(桃山公園協議会のような場所)で判断している。
高槻市はおおらかで、何でもやらしてくれている。
例えば、安満遺跡公園の中に、弥生時代の竪穴式住居を作りたいという希望も叶えている。
議論になった例は、「ペットグループ」。公園に犬を連れて散歩させたいという人たちと、公園に犬を連れてくるのは反対だという人たちで対立した。結局はマナーを守るように連れてきてもらうのはどうしたら良いだろうというグループができた。それは素晴らしいことだと思っていて、市民同士の話し合いで解決できるような前向きとなる展開になった。

F 委員：桃山公園は、災害時一時避難地になっているが、行政にもトイレについてなどもう少し考えてほしいと伝えているが、行政は考えていないと思っています。先生はどう考えていますか。食料なども必要である。
G 委員：吹田市のガイドラインで、防災用の備蓄トイレを補完するようにという決まりがあり、準拠している。パークセンターに（200 セット程度）備蓄致します。
B 委員：防災の話は、公園にとって根幹的な大事な機能だと思います。なかなか難しく、有事にならないと機能が発揮しないものなので、気が回らないところもある。私自身も実家は神戸市の東灘区で、阪神淡路大震災の経験があるが、今の学生はその後に生まれている人ばかりなので、震災について語り継ぐことも大事ですし、防災訓練を地域で練習しておくことも大事である。

〇江坂公園リニューアルオープン記念イベントの紹介
G 委員：パークセンターに記念イベントの紹介を貼りだします。

4. 前回(分科会)での質疑回答
〇春日大池噴水について(吹田市/川本)→本件は、継続検討事項となる
①4～5 年前に推知ポンプが故障した。
②水質調査を環境部が毎年実施しているが、吹田市内の池の中で水質が良いのが春日大池であり、故障前と故障後の数値は変わっておらず、浄化に対する効果は考えにくい。

③修理費用について、約 140 万円程度かかる。
これらの点から、吹田市としては必要でない。

H 委員：何故噴水を設置したのか。
Ⅰ委員：浄化のため。
H 委員：数値が変わっていないのに、何故噴水をあげていたのか。無駄遣いか。

Ⅰ委員：そういわれても仕方がない。
H 委員：無駄遣いを認めたらいけないのではないか。理屈が合わない。
G 委員：この会は行政を糾弾する場ではない。
Ⅰ委員：過去の経緯でつけていた。
H 委員：景観のためにではないか。
J 委員：当時の設置した目的は浄化のためにつけた。浄化のために再設置をしてほしいという前回のご要望だったので、そういう意味では、当時の考え方が浄化目的ではあったのですが、実際には変わらなかった。
D 委員：水質の噴水設置後と故障後の COD 数字は出ているのか。
I 委員：HP に公開している。平成 20 年～基準値をクリアしている。
2015 年(故障時)：COD3.8 2021 年：COD5.2
D 委員：水質は悪くなっていることは事実。浄化しようとしたら、噴水を再開したほうが綺麗になるのではないか。基準値をクリアしているから良いのではない。
H 委員：いい加減な言い方をしたらいけない。公園への愛情が足りない。噴水を修繕してあげたら、感じも良いし、水の浄化もされるし、良くなるのではないか。そういうのを考えたらよいのではないか。吹田市の予算は豊かだから、地域の皆さんが喜ぶことを考えてほしい。
Ⅰ委員：ここで修繕を実施するとは言えないので、持ち帰り検討する

〇ボランティア必要備品の要望方法
・資機材申請書について
必要な備品がございましたら、資機材申請書をパークセンターに提出してください。購入するかを検討後、結果をご報告します。
納品はパークセンターに届きましたらご連絡しますので、取りに来てください。
納品の期日については指定ができませんので、ある程度ゆとりを持った申請をよろしくお願い致します。
K 委員：申請したい機材があるが、吹田市へボランティア申請をしたときに頂いたのがトング 3 本とビニール袋を頂き、活用している。掃除するのに箒は家のものを持参している。足らないときは、愛好会の箒を使っている。例えば、箒が欲しいとなると、守る会では保管場所がなく、自宅で保管することになるのか。資材の保管場所がないのが問題にある。資機材を依頼した場合は、保管場所はどこになるのか。

A 委員：守る会のボランティアに時々参加しているが、ボランティア団体に属していなくても、掃除したいと思う時がある。せっかくパークセンターが

できたので、塵取りや箒と袋を借りることができて、自分の空いている時間に掃除したい。パークセンターにそのような役割を持てないか。

L 委員：可能です。いきなり 10 本や 20 本と言われると用意ができない。
A 委員：自分たちの公園になるためには、道具をわざわざ持って来るのは面倒なので、パークセンターで貸出してください。
H 委員：資材の本数を決めてください。
G 委員：愛好会の備品を皆さんで共有することはできないか。
H 委員：愛好会のものとしているわけではない。
G 委員：箒・トング・袋は用意します。愛好会の備蓄倉庫を共有する方向で進めたい。
M 委員：公園の中にロッカーがあるのはどうか。パークセンター内に保管して、全員で共有したらよいのではないか。みんながより良い街づくり、公園を作っていけばよい。
G 委員：議論を整理すると、パークセンターにトング・箒・塵取りを用意します。また、今後の検討事項として、愛好会の収納ボックスを今後ボランティア活動共有の資材置き場とします。
H 委員：ロッカーを動かすと遠い。
K 委員：今年度の予算で、大きめの倉庫を購入してほしい。
G 委員：桃山公園内にロッカーをボランティア団体ごとに分けると管理が大変なので、一カ所にまとめる。また、資材を整理して、どこに置くのかを決定します。
M 委員：公園の中にロッカーを置くのは、言語道断である。一生懸命働いているボランティア自身を汚すことである。
A 委員：パークセンターの図面を見せてもらった際に、パークセンターにロッカーがあった気がするが、今ないのであれば、掃除する道具を共通の使えるものを作ってほしい。
N 委員：指定管理者で次回の会議までに運用案を作成しますので、次回会議で提案します。

5.　意見交換

① 今後のスケジュール(指定管理者)

・5 月中旬から、パークセンター前広場にキッチンカーを定期的に出店予定。
3 回/週 程度の予定(土日、平日 1 日)

G 委員：皆様もご覧いただいたかとは思うが、団子を購入して東屋や休憩所で食べたり、キッチンカーの期待の声が挙がった。
H 委員：曜日は決まっているか。
G 委員：未決定です。決定したら、パークセンターに貼りだします。
O 委員：1 回に 1 台ですか。メニューはわかっているか。音楽は鳴らさないようにして頂きたい。

G 委員：コンセントは 2 口ありますので、週末等は 2 台になる可能性もあります。種類は決まっていません。匂いについては受け受け取り方によると思いま

すが、匂いや音楽については常識の範囲内で配慮します。

② 公園内実施イベント及びプログラムについて

・5 月 21 日(日)吹田市健康づくり事業団との共催で、「健康ウォーク(仮称)」を開催します。千里南公園から桃山公園まで歩いてきて、公園内をまわり、健康遊具の正しい使い方のレクチャーをして頂く。また、パークセンターに血中酸素飽和度を測定できるのも、血圧測定を準備します。
「健康」をキーワードに今後プログラムを進めていきたいと考えております。

③ ボランティア活動の紹介

・各団体様より、活動内容と募集状況についてコメントを頂きます。

〇桃山公園の自然と環境を守る会（田中代表）
活動内容：清掃
活動日：毎月第 3 土曜日　AM10 時～
活動時間：1～2 時間程度
活動人数：5～10 名/回の参加、申請や登録はないが現在は 25 名程度
どなたでも、気軽に参加頂きたい。50 名、100 名を目指している。
生活の中に、ボランティア活動を自然な形で取り入れて頂きたい。

〇桃山公園クラブ（稲山代表）
活動内容：木（桜やもみじ等）を植え、整備している。他に清掃や花壇整備
立ち上げから 8 年ほど経過している。
桃山公園は、台風などの影響で樹木が少なくなっているが、市は捕植をしていない。豊かな環境の為、植栽や整備を行っている。管理する上で、東側へ水道を設置してほしい。皆さんへのお願いは、せっかく整備事業できれいな公園になりましたので、ゴミ一つでも拾う心掛けをお願いしたい。

〇愛好会（飯田代表）
活動内容：植木の剪定、清掃など気付いた事を実施している。
活動日：毎日（朝から夕方まで）　20 年程
園路に水が溜まる箇所が東側にあるので補修をお願いしたい。

6.　その他

・東側の柵が壊れている。修理してほしい。西側はきれいになったが、東側は手付かず。
→本件は、吹田市にて検討頂く。

7.　次回会議について

・3 ヶ月に 1 回です。次回日程は改めてご連絡します。